

学科	服飾美術専攻	担当教員名	福村 愛美		
授業科目	被服心理学		科目区分	専門科目	2 単 位
必修・選択	選択	授業形態	講義	開講時期	1, 2年次・前期 (隔年)
授業の主題 目 標	<p>自分自身を表現するために、衣服は重要な役割を果たしている。衣服には、着用目的が異なっても、各々意味があり、他者に伝達される。 衣服などの外観から第一印象を形成し、人物評価の対象とも成りうる。このような被服心理に関して、様々な角度から体系的に学ぶ。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 衣服を通しての自己表現とは何かを考察する</li> <li>2. 人々が衣服を通してどのように表現しているのかを、調査を基に分析する</li> <li>3. 服飾の中でもテーマを決め、アンケート調査の方法を学ぶ</li> <li>4. 調査の分析方法を学ぶ</li> <li>5. 実際に各々アンケート用紙を作る</li> <li>6. アンケートの作成</li> <li>7. アンケート調査を行う</li> <li>8. データ入力をする</li> <li>9. データ処理をする</li> <li>10. 単純集計の表・グラフの作成</li> <li>11. 単純集計の分析</li> <li>12. クロス集計の表及びグラフの作成</li> <li>13. クロス集計の分析</li> <li>14. 分析結果から考察する</li> <li>15. 自己表現として理想的な衣服デザインの提案を行う</li> </ol> <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	「アパレル科学概論」松生勝編著 (朝倉書店)				
準備学習の 具体的内容	アンケートの内容に関する文献を集める。 アンケート用紙を配布する。				
評価の方法 基 準	授業中の態度 (20%) 課題の提出物 (80%)				
履 修 上 の 注 意	情報処理に関連する講義を受講しておくのが好ましい。				